



園芸課
鈴木 翔馬

今後発生する**病害虫**と その**対策**を知ろう



■害虫について

7月に入り本格的な夏を迎えます。それと同時に病害虫が増えてくる時期です。今回は今後発生する害虫と、おすすめの農薬について紹介いたします。今後の管理の参考にしていただきたいと思います。

・アブラムシ

主に植物の成長点や葉の裏につき、植物から汁を吸うことで成長を阻害します。また、蜜露分を与えすぎた植物にも発生しやすくなります。

・アザミウマ

植物の花粉を好むため、開花した花の中にいることが多いです。また、さまざまなウイルス病の媒介になることもあり注意が必要です。

・ヨトウムシ

葉を食害し、ひどい場合は葉脈を残して全て食べ尽くします。大きくなった老齢幼虫には薬剤も効きにくくなるため、見つけたら早めの対策が必要となります。

・オオタバコガ

葉や果実を食害します。小さいうちは葉を食害し、大きくなると果実の中を空洞化させます。発生数が少なくても被害が大きくなりやすいです。



▲葉を食害するヨトウムシの幼虫



▲葉裏に寄生するアブラムシ

■使用農薬について

○モスピラン顆粒水溶剤

アブラムシやアザミウマへ効果があります。規定の倍率に薄め、散布して使用します。

※モスピラン顆粒水溶剤は毒物・劇物取締法の劇物となります。購入時にご印鑑と身分証明できるもの（免許証など）が必要となります。

○アフーム乳剤

ヨトウムシやオオタバコガなどのチョウ目幼虫に効果があります。即効性があり、様々な作物での使用に登録が取れていますので、家庭菜園で様々な野菜を栽培している方におすすめです。

■農薬を使う際にはよく説明文を読み、必ず用法、倍率、散布量などを守って使用しましょう。これから更に暑くなりますので、体調に気を付けながら適切に管理しておいしい野菜を収穫しましょう。



◇お問い合わせ◇

園芸課 0182-2316578